

やさしさとみどりあふれる活気あるまち やおつ



議会だより

やおつ

No.153 2014.2



1月17日(金) 久田見小学校6年生7人
1月28日(火) 和知小学校6年生25人

議場見学しました!!



● 平成25年度一般会計補正予算案 など全議案可決

● 「大仙寺～港町間排水路について」 など4氏が一般質問

- ▼八百津町消費税及び地方消費税の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例
- 消費税及び地方消費税の引上げに伴い、関係条例の一部を改正するため条例を定めるものです。
- ▼八百津町小口融資条例の一部を改正する条例
- 小規模企業の事業活動の活性化のための中小企業基本法等の一部を改正する等の法律が施行
- 歳入歳出予算の総額に各1億億4437万円とするものです。
- 主な内容は次のとおり。

- 条 例**
- ▼八百津町消費税及び地方消費税の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例
- されたことにより、中小企業信
用保険法に項ずれが生じたこと
及び電子記録債権割引が貸付形
式の対象となつことから、条
例の一部を改正するものです。
- 予 算**
- ▼平成25年度八百津町一般会計
補正予算（第4号）

こんなことが決まりました

平成25年第5回議会定例会は、去る12月6日に招集され、同月16日までの11日間の会期で開かれました。

本会議初日には、町長から平成26年度予算編成の基本方針として、「平成26年度の消費税率の引き上げや電気料金などの値上げが、町財政に与える影響は大きく、一層厳しい予算編成となる。国の政策や制度を十分理解し国県の支援を最大限に引き出せるよう努め、第4次総合計画並びに第4次行財政改革大綱に基づき、町民皆様の期待に応える予算編成に取り組む。」と述べたあと、平成25年度一般会計補正予算案など提案理由の説明がありました。

続いて執行部から提出議案4件（条例関係2件、予算関係2件）の説明があり質疑が行われた後、総務民生常任委員会と建設文教常任委員会にそれぞれ議案の審査を付託し、次いで人事案件1件について同意することに決定し散会しました。

本会議最終日の16日には一般質問を行い、「大仙寺～港町間排水路について」など4名の議員が質問席に立ち、町長をはじめ執行部の見解をただしました。この様子はCCN etチャンネルにおいて生中継と録画放送されました。続いて各常任委員会委員長から、付託された案件について審査の経過及び結果の報告があり、採決の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

次いで、追加提案された議員提出議案第5号「中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議について」を原案どおり可決して今定例会を閉会しました。

10月1日～の間
12月31日

議会日誌

【10月】

1日○教育委員ほか辞令交付式

○町老連 軽スポーツ大会

5日○八百津保育園運動会

11日○県町村議会議長会定期総会・正副議長研修会

12日○しおなみ苑ふれあい祭

13日○和知地区民運動会

15日○湖南マレットゴルフ場完成式

21日○議会全員協議会

25日※例月出納検査

27日○八百津地区町民運動会

○加茂郡消防連合演習

28日○可茂町村議会議長会正副議長研修会

○中濃互助センター旗ゲー
トボーラ大会

※定例監査

29日○可茂地区グラウンドゴルフ団体戦大会

30日○八百津東部中学校公表会

【11月】

1日○町観光協会活性化委員会

3日○南知多町産業まつり

○ふれあい歩け歩け大会

7日○可茂地域市町村議会議員

消防費・団員退職報償費24
0万4千円の追加。

教育費・小中学校・コミュニティセンター消防設備整備費1

63万7千円、小学校ワンコインボランティア報償費、八百津

小・久田見小備品購入費で28万4千円、指定文化財保護費補助金51万7千円、ぶらら屋外テレビ設置等で90万9千円、駅伝大会交通警備委託料外79万6千円の追加。

災害復旧費・道路・河川復旧工事費（町単）2000万円の追加。

基金費・明日のまちづくり基金積立金1億2266万1千円の追加。

人件費・給与費、共済費で1508万7千円の減額。

財源は、国庫支出金1億2715万3千円、県支出金581万1千円、一般財源3081万4千円となっています。

▼平成25年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に各々169万1千円を追加し、14億769万1千円とするものです。

前年度国県支出金返還金を追加補正するものです。

財源は、全額前年度繰越金。八百津町は、平成22年、23年の2年連続で130年に一度という未曾有の豪雨に見舞われ、甚大な被害を受けました。平成22年には八百津市街地について現況の道路側溝や排水路の位置、流れの方向、流下能力などを調査し、流下能力が不足している

林輝夫氏の任期満了に伴い、後任委員として、山田昇氏の選任に同意しました。

任期は平成29年12月12日までです。

議員提出議案

【提出議員】徳田議員ほか3名
【結果】賛成多数により可決
(決議文は最終頁に掲載)

本会議最終日に議員から提出された議案は、採決の結果、次のようになりました。

▼中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議について

一般質問か

ら

主な質問と答弁の要旨

Q1 大仙寺・港町間排水路について

黒岩千泰議員

地下水への影響は？

問
町は、大雨時対策として新規に大規模排水路を計画している。周囲の工場や民家は地下水を利用している所もあり、工事により地下水に影響が出ることを懸念しているが、その対策は考えてあるのか。

答
(山田建設課長)
八百津町は、大雨時対策として新規に大規模排水路を計画している。周囲の工場や民家は地下水を利用している所もあり、工事により地下水に影響が出ることを懸念しているが、その対策は考えてあるのか。

災害復旧費・道路・河川復旧工事費（町単）2000万円の追加。

基金費・明日のまちづくり基金積立金1億2266万1千円の追加。

人件費・給与費、共済費で1508万7千円の減額。

財源は、国庫支出金1億2715万3千円、県支出金581万1千円、一般財源3081万4千円となっています。

▼平成25年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に各々169万1千円を追加し、14億769万1千円とするものです。

前年度国県支出金返還金を追加補正するものです。

財源は、全額前年度繰越金。八百津町は、平成22年、23年の2年連続で130年に一度という未曾有の豪雨に見舞われ、甚大な被害を受けました。平成22年には八百津市街地について現況の道路側溝や排水路の位置、流れの方向、流下能力などを調査し、流下能力が不足している

Q2 キリンの森人道の丘について

作業道の幅員は…？

問
現在、人道の丘からキリンの森まで幅員2.5mの作業道が計画されているが、将来を考え6.0mの道路にしたらどうか。

答
(田口産業課長)
キリンの森から人道の丘への遊歩道整備につきましては、県の森林環境税を利用して源流をたどる森づくり事業として、5ヵ年計画で、総延長1.5kmの遊歩道整備を進めており、現在約400mの整備が完了しております。幅員を6.0mにしたらどうかといふご質問ですが、町道柏沢・小洞線の迂回路とともに、木曾川まで排水路を整備する計画をたてました。

ご質問の地下水への影響についてですが、排水路の工事を施工するうえで、少なからず地下水に影響があることを懸念しております。つきましては、工事による施工方法を採用する予定であります。つまびらかに、地下水を利用している所もあり、工事により地下水に影響が出ることを懸念しているが、その対策は考えてあるのか。

答
(山田建設課長)
八百津町は、平成22年、23年の2年連続で130年に一度という未曾有の豪雨に見舞われ、甚大な被害を受けました。平成22年には八百津市街地について現況の道路側溝や排水路の位置、流れの方向、流下能力などを調査し、流下能力が不足している

Q3 空き家の有効活用は…？

空き家の有効活用は…？

まずは、森林環境税による遊歩道を完成させることが最優先課題でありますので、6.0mの車道整備につきましては、遊歩道完成後に、検討させていただきたい。

そこで、井戸を抽出し、井戸に水位や水質を調査することも検討しております。地形を考慮したうえで井戸を抽出し、井戸に水位計を投入することや、調査用井戸を掘つて、水位や水質を調査したいと考えております。いざ

れる場合も工事着手前から継続的に水位や水質を調査したいと考えております。

○可茂町村議会議長会
26日○例月出納検査
27日○年末夜警巡視

9日○産業文化祭開会式
13日○町村議会議長全国大会
14日○へき地複式教育研究大会
16日○八百津高校70周年記念式典
22日○議会全員協議会
25日○(仮称)錦津コミュニティセンター安全祈願祭

27日※例月出納検査
28日○八小「メノラの灯」公演
30日○井尻・八百津線付替工事着工式
1日○町福祉大会
3日○議会運営委員会
○県町村議会議長会評議員会
4日○中濃地域農業共済事務組合議会定例会
○町地域公共交通協議会
6日○議会全員協議会
○第5回議会定例会開会
10日○総務民生常任委員会
11日○建設文教常任委員会
16日○議会全員協議会
○第5回議会定例会閉会
20日○杉原ウイーク実行委員会
24日○湖南地区道路委員会
25日○可茂広域行政一部事務組合議会定例会

問 現在、空き家がかなり見受けられるが、町はその数を把握しているのか。また、それに対する対策をしているのか。

また、空き家の再活用を推進すべく、町は情報を管理・配信して、新住民を呼び込む対策を主体となつて行うことは考えているのか。

答 (田口産業課長)

空き家の数は把握しておりません。空き家の数を調査しようとすれば、自治会長さんや個人の財産であり、勝手に立ち入ることもできません。

昨年の9月議会で、林議員が倒壊の可能性のある空き家に対する町の対策について指摘され、それを受け、他市町村の動向も踏まえ、空き家等の適正管理に関する条例の制定に至ることができました。この条例により、危険な空き家が少しでも減少することを期待しております。

次に、再利用が可能な空き家対策としまして、平成21年度から、「空き家バンク」の事業を実施しており、賃貸や売買の希望がある空き家所有者に空き家情報を登録していただき、問い合わせのあつた方に情報提供を行っています。

平成25年度には、6件の登録があり、うち1件の契約が成立

しております。

今後も、ホームページや広報等を利用して、空き家所有者に制度の周知と登録の推進を行って参りたいと考えております。

Q1 やおつトンネル開通に向けた道路整備について

林 俊宏 議員

今後の道路整備は…?

平成22年10月、八百津町南玄関として、やおつトンネル工事が着手され、今年度12月から掘削工事が始まり、八百津町の大きな発展・活性化になるよう期待している。

東濃方面へ通勤している方も多く、当然、交通量の増加も予想される。やおつトンネル開通に向け、大事なアクセス道路として、また、コミュニティセンター周辺の道路状況も含め、「安全な道づくり」として、主要地方道アクセス道路等の整備について、どのように計画されているのか伺う。

答 (山田建設課長)

路整備は、主要な道路について見白川線、西方面へは主要地方道多治見八百津線、北方面へは町道伊岐津志野上線があります。いずれの路線も幅員5.5mで2車線であります。また、県道が全線設置されていませんので、今後県と協議し、歩道の設置を検討していくかと考えております。

また、伊岐津志地内の町道に関する本年度、中組地内と石畑地内で道路改良工事を行うための詳細設計を行っています。

(仮称)錦津コミュニティセンター近隣につきましても、北側に中山間事業で行いました塩口

中野線幅員5.0mと、錦津保育園

とコミュニティセンターとの間の丸根住宅西線幅員5.0mは完了

しています。今後は、コミュニティセンターカーから県道多治見

野上線に接続する南への道路を検討中でございます。いずれに

しましても、町民の方々、議員の皆さんのご意見等をお聞きし、八百津町総合計画の中で検討していきたいと考えております。

Q1 住宅施策全般について

加藤良治 議員

やおつトンネルの掘削工事は、残土処理の関係で少し遅れおりましたが、12月から掘削を行い、平成26年9月には掘削が完了する予定です。その後、トンネル内の排水・昭明・設備・舗装及び八百津町、御嵩町のそれぞれの取付け道路等の工事を

定住促進の観点から

問 現在、八百津町には16箇所に町営住宅があり、総戸数250戸に対し入居戸数176戸、空き家数74戸という状況である。

昭和30年代に建設された物件も数多く残存しており、現在では、政策的に入居制限する措置を講じている。第4次行政改革大綱

で指摘されている、政策空き家の変更など、今後の管理について伺う。

次に、町有住宅のコンセプトと今後の建設計画についてです。町営住宅とは違い、町有住宅は、町独自の判断で推進することが可能であり、今後は、より積極的に、より効果的に推進することが求められると思う。そのためには町有住宅のコンセプトが重要だと考える。例えば、子育て応援住宅、新生活応援住宅、田舎暮らし応援住宅あるいは高齢者応援住宅、在宅介護応援住宅など、コンセプト住宅を推進することなどが、第4次総合計画で計画されている定住促進に向けた住宅、宅地の整備につながるものと思う。そこで、町有住宅のコンセプトと今後の建設計画について伺う。

最後に、住宅施策、分譲宅地の計画などを、民間を含めた諮問会議で検証、検討してはどうか。多種多様な住宅ニーズに対

応していくためには、地域を始め、民間企業、住宅メーカー、学識経験者などで構成する、町長直轄の諮問会議を設置し、専門性を持つて協議し、計画を作成し、連携して実行することで、より効果が期待できると思う。

答 (赤塚町長)

町営住宅は、公営住宅法により国の補助を受けて整備した住宅で、住宅に困っている低所得者に対して安い家賃で賃貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを役割とするものであります。

今後は、昭和56年以前に建設された中で昭和56年以後に建設された250戸を管理しています。その

115戸の内、老朽化し需要が少なく耐震性のない住宅について、政策空き家を実施しています。

現在115戸の内65戸が空き家となっています。今後空き家になつた住宅を、老朽化の激しい物から順次解体し、社会情勢や住宅の需要等を考慮しながら、今後の町営住宅のあり方を検討していきたいと考えております。

町有住宅のコンセプトと建設計画ですが、町有住宅は、町単独の住宅ですので、入居条件・

家賃等、公営住宅法の制限を受けない住宅です。町有住宅の考

え方ですが、所得が多くて町営住宅に入居できない方、八百津町に定住していただける方を対象にしています。

象に建設しております。具体的には、配偶者又は3月以内の婚姻予約者があること、入居者及び同居者の収入合計が規則で定める基準以上であること、入居者及びその配偶者が40歳以下であること、10年以内に住宅を購入又は建築し定住すること、といった定住促進を目的として建設を行っております。

今後の建設計画ですが、八百

津町第4次総合計画に沿って建設を進めてまいりたいと思って

います。平成23・24年に1棟ずつ建設し、現在2家族が入居中です。平成26年に2棟、28年に1棟の建設計画があります。

住宅施策・分譲宅地の計画など民間を含めた諮問会議で検討・検討してはどうかという点につきましては、こうした計画

は八百津町第4次総合計画の中

で、住宅・宅地の整備ということ

とで、高齢者等が安心して快適

に暮らせるバリアフリーの視点

に立った住宅の供給や、都市か

らのUターンに対応した定住促

進住宅用地の供給など、多様な

居住ニーズに応じられる住宅・

宅地供給を民間開発も含め、総

合的に検討することが必要とさ

れています。当然、より多くの方か

らのご意見や提言を得ながら進

めていく必要性は感じております。

空き家を町費で改装し、10年

間借り上げ、町有住宅として管

理することに関しては、所有者

の理解を得ることや10年間の借

り上げで移住者が来るのかどう

道やおつトンネルの開通や、国道418号線の道渡以東の開通により利便性の向上、又、新丸山ダム完成の暁には、本町の状況も大きく変化すると思います。こうしたことから、まず役場内での情報を共有しながら調査・研究し、必要に応じてご意見をいただく場を設定したいと思っております。

町営住宅で、老朽化によ

り明らかに危険である所につ

いては、入居者に対し、再三

再四、誠実に、解体なり払下げ

なりを伝えていくと同時に、転

居される場合の支援や転居先で

の家賃のスライドで増額した分

にも、何らかの措置を講じてはどうかと考えるが如何か。

問 町営住宅で、老朽化によ

り明らかに危険である所につ

いては、入居者に対し、再三

再四、誠実に、解体なり払下げ

なりを伝えていくと同時に、転

居される場合の支援や転居先で

の家賃のスライドで増額した分

にも、何らかの措置を講じてはどうかと考えるが如何か。

答 (赤塚町長)

市住民との交流促進を図るために実施されている事業です。現

在の姉妹提携都市を始め、「田

舎暮らし体験ハウス」として整

備し募集したならば、週末体験、

夏季休験等の交流人口も増え、

中には移住を希望される方もあ

るかと思う。

問 田舎暮らし体験ハウス等

を町有住宅で整備したらどうか

のことですが、先に答弁しま

したが、現在の町有住宅の目的

も定住促進を目的としておりま

す。本年度も1戸に対して4家

族の申し込みがあり抽選となつ

ております。現在の町有住宅の

目的でも需要はあると考えてお

ります。しかし、今後は、空き

家対策と共に検討して参りたい

と考えております。

答 (赤塚町長)

百津町第4次総合計画は、平成

28年度までの計画であり、次の

第5次総合計画が検討される際、

建設部会、産業部会等いろいろ

な部会が設置されます。この部

会の中で、地域住民や関係役員

等の皆様で、町有住宅建設や分

譲宅地用地等、地域の意見をお

聞きし、検討していくたいと思

つております。改めて諮問会議

という名前ではなく、様々な部

会の中で、それぞれの考えをお

伺いし、第5次総合計画に反映

させていくのも一つの考え方だと

思っています。

その後の町内の小・中学校の状

況について、どのように把握さ

れているのか。

また、平成16年度から町内の

中学校2校と八百津高校との連

携型中高一貫教育がスタートし、

今日まで教師や中学生、高校生

の交流や学力向上に取り組み、

実績を上げてこられたが、昨今

では、連携中学から連携高校へ

の志願者が年々減少している。

今までの成果と今後の課題につ

いて、どのように支援されるの

か教育長のお考えをお聞かせ

ただきたい。

次に二点目は、少子化や過疎

化により児童・生徒数が年々減

少している。現在、町内5小学

校で553名、2中学校で333名が在

今後、東海環状へのアクセス道やおつトンネルの開通や、国道418号線の道渡以東の開通により利便性の向上、又、新丸山ダム完成の暁には、本町の状況も大きく変化すると思います。こうしたことから、まず役場内で情報を共有しながら調査・研究し、必要に応じてご意見をいただく場を設定したいと思っております。

ある町では、定住促進策

として、町が空き家を公募

して、10年間借り上げ、住宅改修

を実施し、町有住宅として管理

している。ただし、これは住居

として提供するのではなく、都

市住民との交流促進を図るため

に実施されている事業です。現

在の姉妹提携都市を始め、「田

舎暮らし体験ハウス」として整

備し募集したならば、週末体験、

夏季休験等の交流人口も増え、

中には移住を希望される方もあ

るかと思う。

か、今後、検討していきたいと

思います。

住宅建設や宅地分譲など

の施策では、地域の住民の

意見を聞いていただくことが大

事です。既存の自治会や地区だ

けでなく、中規模なプロックの

籍している。そして5年後の平成30年には小学校で426名、中学校では269名となり、5年間で約200名の減少となる。このような状況で推移すると、益々減少していくようになり、遠からず統廃合を町全体で考えなければならぬと思うが、教育長のお考えをお聞かせいただきたい。

答

(堀部教育長)

抱負についてお答えします。私が育成したい子ども像は、「夢・志を持ち、八百津町に誇りを持つて、たくましく生き抜いていく子ども」です。

一人一人の子どもは、社会の中で何らかの役割を期待されて生まれてきた、かけがえのない存在です。ですから、自分のためだけではなく、世の中のため、人のために尽くす夢・志を持つ子ども、そしてその夢・志の実現に向けて努力し、たくましく生き抜いていく子どもを育てていかなければならぬと思っています。そのような子どもを学校、家庭、地域が手に手を取つて連携しながら育成したいと思っています。

ところで、教育委員会は、これまで、八百津町の教育夢プラン「人道プラン」に基づき、事業を展開してきました。人道プランには3つの柱があります。第一が、一人一人に生きる力の育成を図る学校教育、第二が、モラルや社会性を高め、感性を

養い、人としての生き方の基礎を育む家庭教育、第三が、地域での生き方を学び、貢献する態度を養う地域教育であります。この3つを柱に今後も力を入れていきたいと思います。学校教育、家庭教育、地域教育でそれぞれ大切にしたいことを次に述べたいと思います。

学校教育で大切にしたいこと

についてお話をします。現在、少子化や情報化社会の進展、家庭や地域の教育に対する意識や価値観の多様化など、社会状況や教育を取り巻く環境が大きく変化しています。そのため様々な教育の課題が出てきています。

子ども達の「学力」、「社会性や規範意識、思いやりの心」、や「体力の向上」などを一層磨かなければならぬと思っていきます。学校におきましては、「確かな学力を身につけること」、「人権意識を含め、豊かな心を育むこと」、「校風づくりを行うこと」、「人ととの絆をつくる、かかわりの教育を大切にすること」、「当たり前のことに対する力を入れること」、「保育園、小中高といった年齢

を超える（たて）の連携と家庭や地域の（よこ）の連携をすすめること」にこだわっていきたいたいと思います。

「確かに学力を身につけること」についてお話をします。現在在、少子高齢化や国際化、情報化の一層の進展など時代が大きく変化する中、新たな時代を切り開く創造性豊かな人材がますます不可欠になってしまいます。「基礎的・基本的な知識・技能」を確実に身につけるだけでなく、思考力・判断力・表現力・自ら学ぶ意欲や態度を育てることに力を入れなければなりません。

自ら課題を見つけて解決していく力や、コミュニケーション能力等を育む教育活動を推進したいと考えます。そのためには「日々の授業改善に努めること」、「子どもの実態に応じた少人数指導など個に応じた指導の充実」、「家庭学習の推進」、「読書の指導」などに力を入れたいと考えます。

続いて、「人権意識を含め、豊かな心を育成すること」についてお話をします。八百津町の小中学生の学力状況調査では、「基本的生活習慣の確立」、「規範意識」、「他者への思いやり」などは、比較的高い割合を示しています。

それは、「学校を、磨き、鍛える場であるととらえること」、「校風づくりを行うこと」、「人ととの絆をつくる、かかわりの教育を大切にすること」、「当たり前のことに対する力を入れること」、「保育園、小中高といった年齢

を取り入れています。また、あいさつ運動の推進により、思いやりの心を育成しようと、各学校では努めています。

現在、町内の小中学校では、地域の自然や歴史、文化・産業などを理解する学習や、地域の人々と連携した多様な地域学習を進めています。授業に地域の方が参加していることもあります。

のことにより、子ども達に、郷土八百津への愛着や誇り、社会性、表現力、問題解決力などが一段と身につきつつあります。さらに、ふるさと八百津の教育資源、即ち「ひと、もの、こと」を活用し、学校・家庭・地域が一体となつた教育活動の推進をしたいと考えます。そのため、ワンコインボランティアを一層進めて行きたいと思います。同時に八百津高校と小中学校の連携も推進していきます。

今後、教育内容で、大事にしていきたいことをお話しします。それは、「ふるさと八百津の教育資源を活用する教育」を一層充実させるということです。八百津町には、豊かな自然があり、良き文化や伝統が残っています。そして、地域の方々が笑顔でいさつを交わす、温かい人と人の絆があります。地域に貢献して見える方が大勢みえます。

小中学校では、育てたい道徳性を明確にし、道徳の時間を充実させたり、豊かな体験活動を

中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める決議

去る11月23日、中国政府は、「東シナ海防空識別区」を設定し、当該区域を飛行する航空機に対して中国国防部の定める規則を適用するとともに、これに従わない場合には中国軍による「防衛的措置」をとる旨発表した。

中国側のこうした措置は、東シナ海周辺における現状を一方的に変更し、事態をエスカレートさせ、現場海空域において不測の事態を招きかねない極めて危険なものである。

今回の中国側の措置は、公海上空を飛行する民間航空機を含む全ての航空機に対して、一方的に軍の定めた手続に従うことを強制的に義務づけた。これに従わない場合、軍による対応措置を講じるとしたことは、国際法上の一般原則である公海上空における飛行の自由の原則を不当に侵害するものであると同時に、アジア太平洋地域ひいては国際社会全体の平和と安定に対する重大な挑戦である。

東シナ海は多数の民間航空機の飛行経路であり、民間航空の秩序及び安全への影響の観点からも大きな問題である。このような中国側の措置は、我が国に対して何ら効力を有するものではないことをここに表明する。

また、中国側が設定した空域は、我が国固有の領土である尖閣諸島の領空があたかも「中国の領空」であるがごとき表示をしており、このような力を背景とした不当な膨張主義を民主主義・平和主義国家として我が国は断じて受け入れることはできない。

本議会は、公海上空における飛行の自由を妨げるような今回の一切の措置を、中国側が即時撤回することを強く要求する。

また、同盟国である米国をはじめ、自由・民主主義、基本的人権、法の支配といった共通の価値観を有する周辺諸国・地域を含む国際社会及び国連をはじめとする国際機関と緊密に連携しつつ、我が国の主権と国民の生命・財産を断固として守り抜くため、毅然たる態度で必要なあらゆる措置を講じることを政府に強く求める。

以上決議する。

平成25年12月16日

岐阜県八百津町議会

よる合格により、一般入試よりも早く進路が決ったというのが現状です。しかし、今年度からは、入試制度が変わり、一発試験になったことにより、1年生から全員が中高連携のチャレンジテストを受けている。こうすることも学力向上につながると思う。

岐阜新聞では、2014年から5年間の岐阜県の指針となる第2次教育ビジョンの素案が発表されている。その中で、少子化の進展に伴い、1学年4学級以上の規模を維持できない高校は、そのあり方を検討するとされていた。これは、危惧される点もあるかと思うが、教育長のお考えをお聞かせ願う。

答
(堀部教育長)

八百津町は人権・人道の町であり、特に人権についてもこだわりたいと思います。いじめは実際に起つております。いじめは実際に起つており、放置すれば、どこの学校でも起こりうる可能性があると思っています。それぞれの学校は、しっかりと受け止めて取り組んでおりますが、先程申し上げた結果となっています。いじめは1回の指導でなくなるとは限らず、むしろ、長期間化する場合もあります。私達が力を入れているのは、1、いじめは人権を規制するものであり、時には命も奪うものであります。こうしたいじめは絶対許さないという教師の一貫した姿勢、2、

未然防止の対策、3、アンケート、面談、教員と子どもの生活ノートによる早期発見、早期対応、4、いじめが起きた後の見届けと継続的指導等について努力したいと思います。

徳田議員は、スマートフォンの発展に伴う誹謗中傷といつたいじめを指摘されました。そのとおりで、いじめ10件の内、1件はLINEを使つたいじめです。LINEのメリットは無料で電話・メールができることです。ですが、デメリットは、LINEを始めインターネットで流れた情報は、簡単に削除できないことがあります。子ども達には、情報化社会において、適正に行動できる力をつけるさせなければならぬと思つておらず、研修等に力を入れていきたいと思つています。

次に、中高連携についてです。八百津高校は1学年120名で3学級です。ただし、きめ細やかな指導を行つたために4学級にしています。状況的には第2次教育ビジョンを見ましても、非常に危惧しております。八百津高校の魅力づくり、私達も連携の魅力を感じていますので、推進していく努力をしていきたいと思います。

町民のみなさん

八百津町議会を傍聴してみませんか!!

3月定例会は 3月5日(水)開会の予定です

詳細は議会事務局までお問い合わせください

☎ 43-2111(内線2302)

一般質問の様子はCCNet(アナログ10ch)
地デジ12ch)で生中継・録画放送されます

